



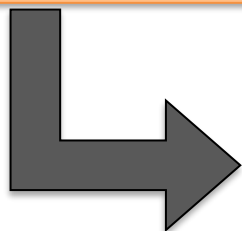
小さな町から始める 大きな挑戦

岩手県葛巻町

葛巻町の脱炭素の状況

町が持つ多面的機能を最大限に活かし、他に先駆けて21世紀の地球規模での課題である「食料・環境・エネルギー」の問題解決に貢献するため、基幹産業である酪農と林業の振興を図るとともに、町全体で再生可能エネルギーの生産及び利用を推進している。

- ☆山間高冷地（牧場）に吹く『風』 ⇒ 風力発電
- ☆家畜排泄物から発生する『メタンガス』 ⇒ 畜ふんバイオ
- ☆森林整備の際に発生する『間伐材』 ⇒ 木質バイオ
- ☆教育機関や公共施設への太陽光発電・蓄電池の導入



電力自給率
約360%

現状における課題

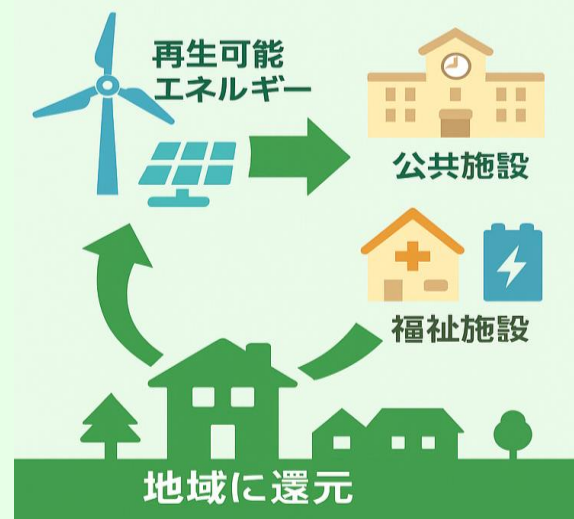
再エネによる電力が地産地消に結び付いていない
(外部に販売)

再エネは“**地域の資源**”であるにも関わらず、
“**地域のエネルギー**”になっていない！

地域の資源で発電しているのに、
町で使われていない！

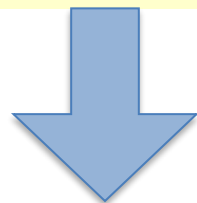


“地産地消型”へシフトしたい



課題解決に向けた今後の対応・目標

「クリーンエネルギーの恩恵を日常生活においても、町民が身近に実感できること」を重要な視点とし、脱炭素社会構築に向けて企業との連携強化など、新たな政策を展開していきたい！



- 地産地消モデルの構築
- 再エネ事業からの収益を地域内に循環させる仕組みづくり
(一般家庭の電気代を安くしたい)
(公共施設の電気代を安くし、別の形で町民へ還元したい)

副収入と雇用の創出

地域資源の活用、
エネルギーの
地産地消

葛巻町の資源を最大限に活用し、
この山村でしかできないことに挑戦

